

まちづくり戦略 2 - (4)

文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出

【重視すべきポイント】

- ①文化芸術が身近となる機会の創出
- ②スポーツが身近となる機会の創出
- ③であい、ふれあえる場の創出
- ④多文化共生の推進



まちづくり戦略 2 - (5)

歴史・伝統の保存、継承、活用

【重視すべきポイント】

- ①歴史遺産・伝統文化の保存、継承
- ②産業資源としての活用
- ③失われつつある民俗文化の保存



まちづくりの方向性 3

人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる

多様な主体による協働のまちづくりの推進や将来都市構造を踏まえた適切な土地利用を図るとともに、豊かな自然と美しい景観などの特性を活かしたまちづくりや利便性、効率性の高いインフラ整備、公共サービスの提供、災害に強いまちづくりなどをすすめます。

まちづくり戦略 3 - (1)

多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化

【重視すべきポイント】

- ①地域課題の解決
- ②社会貢献活動の促進
- ③地域アイデンティティの形成



まちづくり戦略 3 - (2)

利便性の高い都市機能とネットワークの構築

【重視すべきポイント】

- ①中心市街地の活性化
- ②将来都市構造を踏まえた土地利用の推進
- ③効果的な都市施設の整備
- ④交通と情報のネットワークの強化



まちづくり戦略 3 - (3)

地域特性の保全、活用、創出

【重視すべきポイント】

- ①自然・歴史・農山村景観の保全、創出
- ②遊休資源の活用
- ③森と水、豊かな大地の保全、活用



まちづくり戦略 3 - (4)

安全への備えと災害時の対応強化

【重視すべきポイント】

- ①日頃の防災対策の強化
- ②災害時における対応の強化
- ③様々なリスクへの対応の強化



まちづくり戦略 3 - (5)

長期的な視点による公共サービスの提供

【重視すべきポイント】

- ①計画的な公共施設の管理
- ②良質な公共サービスの提供
- ③官民連携の推進



地域のまちづくり

“自分たちが住むまちは、どのような姿が望ましいのか”という市民の思いを尊重しながら、市民、地域住民組織、事業者、行政など地域に関わる多様な主体が同じ目線に立って将来に向けた取り組みを実践できるよう、それぞれの地域が持つ特徴などを活かした各地域のまちづくりの方向性を示しました。

※各まちづくり協議会の範囲を地域の単位としています(20地域)。

着実な計画の推進

まちづくりの方向性とまちづくり戦略の着実な推進を目指して、市民の参加や理解のもと、効率的かつ効果的に行政経営を進めます。

(1)協働と市民参加の推進

(2)持続可能な行財政運営の推進

(3)計画の実効性の確保